

研究課題名	鑑別困難な限局性良性胆管狭窄に対する ERCP 関連手技の有用性
研究期間	実施許可日 ～ 2026年3月31日
研究の対象	2008年01月から2023年12月の間に、広島大学病院にて内視鏡的逆行性胆管造影検査（ERCP）を受けたのちに外科手術をうけ、肝門部領域胆管癌または良性胆管狭窄と診断された方。なお、良性胆管狭窄のうち、原発性硬化性胆管炎またはIgG4関連硬化性胆管炎と診断された方は除きます。
研究の目的・方法	研究目的：良性胆管狭窄の原因は多岐にわたりますが、診断基準が確立されている硬化性胆管炎や成因が明らかな術後胆管狭窄などと異なり、成因がはっきりとしない胆管狭窄も存在します。このような胆管狭窄は胆管癌との鑑別が必要となりますが、両者の鑑別診断は容易ではありません。本研究は、硬化性胆管炎を除く良性胆管狭窄と胆管癌の鑑別における ERCP 関連手技の有用性を明らかにすることを目的としています。 研究の方法：本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：性別、年齢、血液検査所見、画像検査所見（CT、MRI、EUS、ERCP）、術前・術後病理診断結果等です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
外部への試料・情報の提供	ありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
その他	-
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせ

ください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5193 (内線 4273)

広島大学病院 消化器内科 クリニカルスタッフ 古川 大

広島大学病院 消化器内科 診療講師 石井 康隆